

項目コード	検査項目	検体量 (ml)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値	提出条件・備考	検査目的および異常値を示す主な疾患名
4605	淋菌核酸検出 (淋菌同定DNA) 6B610-0000-085-862 6B610-0000-001-862 6B610-0000-079-862	ぬぐい液	101	冷蔵	3~4	204 ①③ 微生物	TaqMan PCR法	検出せず	次ページ参照 ※06	淋菌感染症
4933		初尿4.5	102					検出せず	同一検体で遺伝子検査以外の項目との重複依頼は避けて下さい ※06	
4957		うがい液4.5	103					検出せず	次ページ参照 ※06	
5142	クラミジアトラコマチス核酸検出 (クラミジアトラコマチス同定DNA) 5E021-0000-085-862 5E021-0000-001-862 5E021-0000-079-862	ぬぐい液	101	冷蔵	3~4	193 ②③ 微生物	TaqMan PCR法	検出せず	次ページ参照 ※06	クラミジア・トラコマチス感染症 新生児：新生児結膜炎 肺炎 男性：尿道炎 女性：子宮頸管炎 咽頭炎
4934		初尿4.5	102					検出せず	同一検体で遺伝子検査以外の項目との重複依頼は避けて下さい ※06	
4956		うがい液4.5	103					検出せず	次ページ参照 ※06	
4805	淋菌・クラミジアトラコマチス同時核酸検出 6B615-0000-085-862 6B615-0000-001-862 6B615-0000-079-862	ぬぐい液	101	冷蔵	3~4	270③ 微生物	TaqMan PCR法	検出せず	次ページ参照 ※06	淋菌感染症 クラミジア・トラコマチス感染症 (重複感染)
4932		初尿4.5	102					検出せず	同一検体で遺伝子検査以外の項目との重複依頼は避けて下さい ※06	
4958		うがい液4.5	103					検出せず	次ページ参照 ※06	
0650	便中アメーバ検査* 1B080-0000-015-735	便、肝臓腸組織	10	37℃ 保温	1~3	45 微生物	顕微鏡検査	認めず		アメーバ性肝臓腸腸アメーバ症

① 淋菌核酸検出

- ア 区分番号「D023」微生物核酸同定・定量検査「3」の淋菌核酸検出、区分番号「D012」感染症免疫学的検査の「37」淋菌抗原定性又は区分番号「D018」細菌培養同定検査（淋菌感染を疑って実施するもの）を併せて実施した場合は、主なもののみ算定する。
- イ 淋菌核酸検出は、DNAプローブ法、LCR法による増幅とEIA法による検出を組み合わせた方法、PCR法による増幅と核酸ハイブリダイゼーション法による検出を組み合わせた方法、SDA法、TMA法による同時増幅法並びにHPA法及びDKA法による同時検出法又はTRC法による。淋菌核酸検出は、泌尿器、生殖器又は咽頭からの検体（尿検体を含む。）によるものである。なお、SDA法、PCR法による増幅と核酸ハイブリダイゼーション法による検出を組み合わせた方法、TMA法による同時増幅法並びにHPA法及びDKA法による同時検出法又はTRC法においては咽頭からの検体も算定できる。

② クラミジア・トラコマチス核酸検出

- ア 区分番号「D023」微生物核酸同定・定量検査「2」のクラミジア・トラコマチス核酸検出と区分番号「D012」感染症免疫学的検査の「28」クラミジア・トラコマチス抗原定性を併用した場合は、主なもののみ算定する。
- イ クラミジア・トラコマチス核酸検出は、PCR法、LCR法、ハイブリッドキャプチャー法若しくはTMA法による同時増幅法並びにHPA法及びDKA法若しくは核酸ハイブリダイゼーション法による同時検出法、SDA法又はTRC法により、泌尿器、生殖器又は咽頭からの検体により実施した場合に限り算定できる。

③ 淋菌及びクラミジア・トラコマチス同時核酸検出

- ア 区分番号「D023」微生物核酸同定・定量検査「5」の淋菌及びクラミジア・トラコマチス同時核酸検出は、クラミジア・トラコマチス感染症若しくは淋菌感染症が疑われる患者又はクラミジア・トラコマチスと淋菌による重複感染が疑われる患者であって、臨床所見、問診又はその他の検査によっては感染因子の鑑別が困難なものに対して治療法選択のために実施した場合及びクラミジア・トラコマチスと淋菌の重複感染者に対して治療効果判定に実施した場合に算定できる。
- ただし、区分番号「D012」感染症免疫学的検査の、「28」のクラミジア・トラコマチス抗原定性、同区分「37」淋菌抗原定性、区分番号「D018」細菌培養同定検査（淋菌及びクラミジアによる感染を疑って実施するもの）、本区分「2」のクラミジア・トラコマチス核酸検出又は「3」の淋菌核酸検出を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。
- イ 区分番号「D023」微生物核酸同定・定量検査「5」の淋菌及びクラミジア・トラコマチス同時核酸検出は、TMA法による同時増幅法並びにHPA法及びDKA法による同時検出法、PCR法による同時増幅法及び核酸ハイブリダイゼーション法による同時検出法、SDA法又はTRC法による。淋菌及びクラミジア・トラコマチス同時核酸検出は、泌尿器、生殖器又は咽頭からの検体（尿検体を含む。）によるものである。なお、TMA法による同時増幅法並びにHPA法及びDKA法による同時検出法、SDA法、PCR法による同時増幅法及び核酸ハイブリダイゼーション法による同時検出法又はTRC法においては咽頭からの検体も算定できる。

*《便中アメーバ検査》

アメーバ栄養型は低温に弱く、時間経過とともに自己崩壊するため、偽足を出して活発に運動している状態を検出するには、検体採取後37℃保存で2時間以内に鏡検する必要がある。

4時間までは微動が確認されるが、それ以降の検出は困難である。

10 便検査用



101 PCR専用容器:ぬぐい液



102 PCR専用容器:尿



103 PCR専用容器:うがい液



クラミジア・トラコマチス抗原・淋菌抗原 PCR 採取条件・提出条件

性器クラミジア/淋菌 検体の採取方法

CT/NG

尿



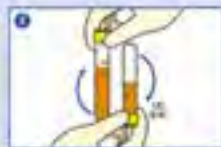
尿検体の採取
清潔な容器に尿を採取します。清潔な針とシリンジを用いて、尿をコリスPCRMメディアに集めます。
【注意】 尿は採取後、室温で2時間以内で検査してください。



コリスPCRMメディアに直接集めておくか、シリンジの筒に尿を満ちるように集めておくか、どちらでも可。



尿検体の保存
コリスPCRMメディアは凍蔵を繰り返さず、室温で保存してください。



コリスPCRMメディアは凍蔵を繰り返さず、室温で保存してください。

検体採取上の注意

- ※ 尿はコリスPCRMメディアに直接集めておくか、シリンジの筒に尿を満ちるように集めておくか、どちらでも可。
- ※ 検体に大量の血液が混入した場合は正しい結果が得られない場合があります。
- ※ 尿は採取後、室温で2時間以内で検査してください。

一般的な注意

- ※ 尿の採取は清潔な容器で行ってください。
- ※ 尿の採取は清潔な容器で行ってください。
- ※ 尿の採取は清潔な容器で行ってください。
- ※ コリスPCRMメディアの凍蔵を繰り返さず、室温で保存してください。

うがい液



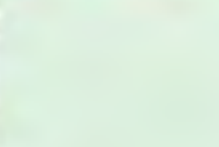
うがいの仕方
清潔な容器にうがい液を20ml程度集めます。コリスPCRMメディアに直接集めておくか、シリンジの筒にうがい液を満ちるように集めておくか、どちらでも可。



検体採取後の処理
「うがい液」を清潔な容器に集めます。コリスPCRMメディアに直接集めておくか、シリンジの筒にうがい液を満ちるように集めておくか、どちらでも可。



検体採取後の処理
PCRMメディアの凍蔵を繰り返さず、室温で保存してください。



コリスPCRMメディアは凍蔵を繰り返さず、室温で保存してください。

検体採取上の注意

- ※ うがいの後はコリスPCRMメディアに直接集めておくか、シリンジの筒にうがい液を満ちるように集めておくか、どちらでも可。
- ※ 検体に大量の血液が混入した場合は正しい結果が得られない場合があります。
- ※ 尿は採取後、室温で2時間以内で検査してください。

一般的な注意

- ※ 尿の採取は清潔な容器で行ってください。
- ※ 尿の採取は清潔な容器で行ってください。
- ※ 尿の採取は清潔な容器で行ってください。
- ※ コリスPCRMメディアの凍蔵を繰り返さず、室温で保存してください。

性器クラミジア/淋菌 検体の採取方法

CT/NG

子宮頸管



子宮頸管の採取
清潔な容器に子宮頸管の分泌物を20μl程度集めます。コリスPCRMメディアに直接集めておくか、シリンジの筒に分泌物を満ちるように集めておくか、どちらでも可。



コリスPCRMメディアに直接集めておくか、シリンジの筒に分泌物を満ちるように集めておくか、どちらでも可。



子宮頸管検体の保存
コリスPCRMメディアは凍蔵を繰り返さず、室温で保存してください。



コリスPCRMメディアは凍蔵を繰り返さず、室温で保存してください。

検体採取上の注意

- ※ コリスPCRMメディアに直接集めておくか、シリンジの筒に分泌物を満ちるように集めておくか、どちらでも可。
- ※ 検体に大量の血液が混入した場合は正しい結果が得られない場合があります。
- ※ 尿は採取後、室温で2時間以内で検査してください。

一般的な注意

- ※ 尿の採取は清潔な容器で行ってください。
- ※ 尿の採取は清潔な容器で行ってください。
- ※ 尿の採取は清潔な容器で行ってください。
- ※ コリスPCRMメディアの凍蔵を繰り返さず、室温で保存してください。

検体採取容器

子宮頸管



※ スwabは検体
子宮頸管の分泌物を20μl程度集めます。コリスPCRMメディアに直接集めておくか、シリンジの筒に分泌物を満ちるように集めておくか、どちらでも可。

※ コリスPCRMメディア

うがい液



※ コリスPCRMメディア
検体は、検体採取後、室温で2時間以内で検査してください。

※ コリスPCRMメディア